

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労継続支援A型事業所 ワゲンの森八王子
住所	東京都八王子市万町13-2
電話番号	042-686-3688

事業所番号	1312405036
管理者名	施設長 七原 琢巳
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		65 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

(IV) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 参加した職員が1人以上参加している	○	5 点
②研修、学会等又は学会誌等において発表 1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加 1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度 人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置 ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計（注2）		4

(II) 生産活動	選択年度	
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

(V) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している		0 点

(III) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度 就業規則等で定めている	○	15 点
②利用者を職員として登用する制度 就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件 就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件 就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件 就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項 就業規則等で定めている		
小計（注1）		5

(VI) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点

(VII) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	145 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和5年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	24,536	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,482	人	利用者の1日の平均労働時間数	5.4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額		円	利用者に支払った賃金総額		円	収支		円
-----------------	--	---	--------------	--	---	----	--	---

前々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	11,491,478	円	利用者に支払った賃金総額	11,491,478	円	収支	0	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---	---

前年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	28,899,847	円	利用者に支払った賃金総額	28,899,847	円	収支	0	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和5年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している
 ◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。
 ※研修名 令和5年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修
 研修講師 弁護士 関誠 直人他
 実施日・受講者数 8月22日 1人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している
 ※研修、学会等名
 実施日 月 日
 ※学会誌等名
 掲載日 月 日
 発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
 もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている
 ※先進的事業者名
 実施日/参加者数 月 日 人
 ※他の事業所名 和Latteめだか工房
 実施日/参加者数 5月23日 1人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。
 ※商談会等名
 主催者名
 日時 月 日
 内容

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している
 ◎当該人事評価制度を周知している
 人事評価制度の制定日 2015年 4月 20日
 人事評価制度の対象職員数 4名
 うち昇給・昇格を行った者 3名
 当該人事評価制度の周知方法
 個人に実施要項配布して周知

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している
 ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している
 ※配置期間 4月1日～3月31日
 就業時間 8:45～17:30
 職務内容 賃金向上達成指導員

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている
 ※評価を受けた日 月 日
 第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている
 ※認証を受けた日 月 日
 規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画


◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日

労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告

事業所名	就労継続支援A型事業所 ワゲンの森八王子	事業所番号	1312405036
住 所	東京都八王子市万町 1 3 - 2	管理者名	七原 琢巳
電話番号	090-4239-3556	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>場所：神奈川県相模原市 総合相模更生病院 実施日時：令和5年12月15日、令和5年12月22日 研修：危険予知トレーニング研修 職場や作業の状況の中に潜む危険要因を予知・予測し、危険予知の能力向上のための訓練を実施 利用者受講率 18名/20名（90%）職員2名</p> <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> 作業現場には多くの危険が潜んでいることに、自分自身が気づくようにする 事故防止や危険に対する意識を高め、作業を安全に進められるようにする <p><成果></p> <p>何気ない行動でも危険が潜んでいることを学ぶことができました。研修にて実際の作業場所、道具を使用したことにより、理解しやすかった。慣れてくると、学んだことを忘れてしまう為、今後も定期的な研修が、必要と思われる。</p>	<p><活動の様子></p> <p>写真やイラストの例題を見て話し合い、意見発表</p>  <p>写真を見て、『なにが・どのように危険なのか』 →『結果、どうなることが予想されるのか』</p> <p>個人ワークを実施後、グループに分かれて進行、書記、発表の担当を決めてグループ発表</p>
--	---

連携先の企業や事業所等の意見または評価

清掃業務は配置されている当該部署の現場スタッフからも丁寧に行われていると好評です。さらに清掃範囲の拡大を望みます。看護補助業務の補助作業は、患者に直接関わる業務以外の作業を担ってもらっています。導入当初から比べ作業範囲は格段に広がり、現在は看護補助業務サポートとしてなくてはならないポジションとなっています。

昨今、病棟勤務の看護補助者の獲得は難しく、ワゲンの森スタッフの作業協働は不可欠と考えます。今後利用者の希望をもとに当院看護補助者としての就労を支援する体制を検討しています。支援サポートとして、患者への直接介助（患者搬送、配下膳、オムツ交換、入浴介助等）の研修、対人関係や業務内容におけるソーシャルスキルトレーニング及びメンタルケアの支援体制の確立を今年度の課題としています。

連携先企業（担当者）	総合相模更生病院 B棟看護科長 高橋 利典
------------	-----------------------

利用者からの意見・評価

KYTという言葉を始め知り、理解できた。普段の作業だけでなくこういう勉強をすることが大切と感じた。積極的に意見交換ができて楽しかった。他の人の意見を聞いて、自分の考えが及ばなかった点などに気付くことが出来て良かった。見えない危険について共有することが出来た。

今後、研修で学んだ対応や危険予知を活かすことで、安全に業務を進めることが出来ると思う。

（利用者研修記録より）